

§ 4-4. 電気工学科 / Dept. of Electrical Engineering

1 ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) とカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

■教育研究上の目的

日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身に付け、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。

■ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) とカリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

共通コンピテンシー (能力・資質)		定義	ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー (編成方針)
DP1	A	幅広い教養	リベラルアーツを目指した知識と思考力	人文・社会・自然科学に関する幅広い知識を得るための科目を配置する。
	B	専門知識・技能	当該分野において必要とされる知識と技能	電気工学分野における基盤技術・ハードウェア・ソフトウェアに関する科目を配置する。
DP2	C	ライフデザイン力	自分の将来を設計・構想し、成長を目指すことができる力	将来目指すキャリアに向けた目標の設定およびその目標の実現・達成に取り組むための科目を配置する。
	D	メタ認知・実現力	自らを客観的に理解し、目標を実現できる力	種々の科学技術及び情報を用いて目的を達成するための知識・能力を身につけている。
DP3	E	グローバルマインド	異なる背景や文化を持つ人々と積極的に関わり、協働できる力	国際的視点と倫理観を身につけるための科目を配置する。
	F	未来構想力	より良い未来を構想し、新しい解を生み出す力	未来に向けた課題設定、問題解決能力を身につけるための科目を配置する。
DP4	G	デジタル力	数理の基礎知識を基に、情報を的確に整理・分析することができる力	科学、技術および数理的知識に基づき情報を的確に整理・分析するための科目を配置する。
	H	発信力	自らの考えを適切に伝えることができる力	論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力を磨き、向上させるための科目を配置する。

■カリキュラム・ポリシー（実施方針）

【学修方法】

1	効率的な知識の定着のために、アクティブ・ラーニングおよび反転講義を取り入れる。
2	講義により得た知識を応用する力を伸ばすために、各科目と有機的に連携した実験・実習を行う。
3	教養力育成科目、関連科目を通して、広い分野で活躍できる力を身につける。
4	総合科目・演習を通して、電気工学分野の知識・技術を応用し、問題を解決できる実践的能力を身に付ける。

【学修成果の評価】

1	各授業科目の学修内容、修得する知識・能力、到達目標、成績評価の方法・基準をシラバス等により学生に周知し、それに則した適切な成績評価を行う。
2	講義科目の学修成果は主にアセスメントテストで、演習・実験科目については主に作品・レポートで評価する。3年次後期の「電気工学総合」において、電気工学分野の知識を総合的に習得しているか確認試験を行う。4年次終了時に卒業研究発表において卒業論文内容の口頭試問を行う。

■学修領域（教育分野）

- ①電気基礎学
- ②電気エネルギーシステム工学
- ③情報制御工学
- ④電気機器・パワーエレクトロニクス工学